

2021年度 講師派遣活動記録

整理番号: 20210425

事業名	環境教育およびエコロジカルライフを実践するための講座開催事業
------------	--------------------------------

活動名	ごみ減量啓発講座
------------	----------

担当者	高根 美保
------------	-------

主催団体	NPO法人エコライフはままつ
-------------	----------------

事業区分	講師派遣
-------------	------

事業サイクル	継続事業
---------------	------

活動の目的	環境行動の実践者を増やす（家庭ごみの減量）
--------------	-----------------------

実施内容	
-------------	--

活動日時	2021年4月25日(日)10:00~11:30
-------------	--------------------------

活動場所	浜松市西部清掃工場「えこはま」
-------------	-----------------

活動者名	高根美保, 村河善信
-------------	------------

詳細	私たちの生活ごみを減らす工夫 (1)もえるごみの処理工程を学ぶ (2)リサイクルについて(使用済ハブラシリサイクル・紙容器リサイクルに参加) (3)海洋プラスチックについて
-----------	---

事業の成果	参加者: 29名 (小学生14名、高校生4名、大人11名) 配布物 県6R県民運動リーフレット・エコバッグ、市ごみ減量チラシ <ul style="list-style-type: none"> ・ボーイスカウト活動「SDGs」環境活動の支援を行った。 ・事前に引率スタッフとの打合せを行い、使用済ハブラシと紙容器の持参を要望。工場見学後に、「もやすすかないごみ」をリサイクルすることでごみの減量と再資源化が可能になったことを説明した。また、対象外となるアルミ箔が貼られた商品の持ち込みがあったので、リサイクルが難しい理由を説明した。 ・昨年度実績のごみ拾い結果からどのようなごみが多く落ちているのか、そしてその後、そのごみがどのようなになるのかを説明した。 ・篠原海岸の浜砂に落ちていた小さなプラスチックについて、分析を行った結果を発表した。 ・各家庭で出すもえるごみのサイズについてヒアリングを行った結果。ごみ出しは、45ℓ・30ℓ(1名)であった。ごみ出しの際にごみ袋に処理費を含めたものを販売することについては、反対は1名であった。 ・会議室での説明の最後に、「ごみに興味を持ってくれるか?」との問に対しては、全員がYESとの回答だった。 ・実際に篠原海岸で3カ所に分かれて、浜砂の中からプラスチックを探す体験を行った。(体験については、事前指導を行い、現地では引率者が指導を行った。) 参加者の感想 普段物になんの不自由もなく、当たり前に使っている生活の中、今回のリサイクルや資源の話や、環境問題の話は、子供はもちろん、大人にも普段の生活を見つめ直すいい活動でした！ ありがとうございました。
--------------	--

事業の課題	課題は、無かった。参加前に「SDGs」環境活動について各自で考えてからの参加の為、説明がスムーズに行うことができた。
--------------	--

記録添付



